

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越トレイル延伸に伴う広域観光推進事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人信越トレイルクラブ 長野県飯山市照岡 1571-15 なべくら高原・森の家内
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,012,222 円 (うち支援金 : 2,409,000 円)

事業内容

長野と新潟県境にある信越トレイルを苗場山まで延伸することによりロングトレイルとしての魅力を高め、栄村を中心とした地域へアウトドア来訪者を増やすことによる活性化、アフターコロナのインバウンド需要回復を見込んだ情報発信を目的として、今年度の開通を目標に事業を実施。令和3年度の主な実施項目は以下のとおり。

【情報提供ツールの製作】

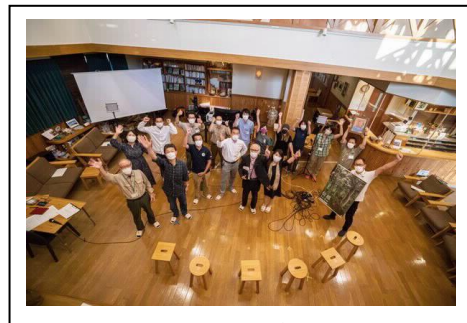
- ・ホームページ/パンフレット (英語版) リニューアル

【信越トレイル全線踏破者に向けた記念グッズの製作】

- ・踏破証/ワッペン/ピンバッジの製作

【苗場山延伸を記念した全線開通イベントによるPRと利用者需要の喚起】

- ・チラシ/ポスター制作およびオンライン配信イベント開催



【全線開通イベント関係者による集合写真】

【目標・ねらい】

- ①全線開通と同時に利用者へ適格な情報提供ができるよう各ツールの準備を進める
- ②延伸のPR及び全線踏破を目的とした利用者の増加を促す

※自己評価【A】

【理由】

- ・各種情報提供ツール、全線踏破記念グッズ製作が完了。
- ・全線開通イベントを開催でき、多くの視聴数と反響が得られた。
- ・トレイル来訪者数やガイドブック頒布数など昨年度を大きく上回った。

事業効果

- ・情報提供ツールの英語版の公開が完了し、アフターコロナのインバウンド誘客を積極的に実施可能となった。
- ・全線踏破記念グッズの制作により、信越トレイル 110 km の全線踏破の付加価値を高めることができた。延伸区間運用中多くのハイカーの来訪があり、17名から全線踏破を達成し踏破証の申込があった。
- ・延伸記念シンポジウムを実施、高い視聴回数を得ることができ、日本全国に信越トレイル延伸のニュースを周知させることができた。

今後の取り組み

来期以降は、アフターコロナによるインバウンド増加が期待される。今季新たに公開した英語ホームページの高頻度の更新やホームページと連携した facebook を積極的に用いて、活気あるトレイル情報を海外に伝えることでインバウンド誘客に努めていく。またインバウンド系旅行会社のツアー造成にむけた営業活動も行う予定。今季、延伸区間を含めた 110 km にわたるトレイル全線の運用期間は 1 か月半であったが、来年度よりシーズンを通しての運用となる。令和4年度は全線踏破証等のツールの活用、延伸区間に生息する動植物などの自然環境調査イベントの実施等、グリーンシーズン全体を通して信越トレイルを歩くハイカーを継続的に増やす施策を行うことを予定している。また地元の宿泊施設や旅行者と連携した信越トレイルツアーの企画などにより、ハイカーが秋山郷の宿や温泉を利用することによる経済効果はもちろん地域の人々と触れ合うことで地域にさらなる賑わいや活気をもたらしていきたい。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある